

# i 留学 研修報告書

記入 | 9 年 1 月

所属 | 理学部生命理学科 3 年生

研修先大学 (国名)	中国科学技術大学 (中国)
研修プログラム名	FUSEP20211S02 Science and Technology towards a Better Life
研修期間	8/2-8/8(1 週間)

## 1. 研修前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

この i 留学に応募するきっかけとなったのは、文化交流とアカデミックな知識、そして語学能力まで得ることのできる留学自体に興味があったからです。しかし、COVID-19 により本来いく予定であったイギリスへの卒業研究留学が取り消され、その代わりに zoom を用いてまるで本当に留学しているように学習し文化交流の場を設けることができる中国科学技術大学の研修に参加しようと思いました。語学対策としては、普段から英語の勉強が好きで以前 IELTS や TOEFL の試験を受けていたので、その勉強を復習とし、申し込みを行う際にもその点を強調しました。

## 2. 研修内容 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

1 週間の間、自分の受けた授業をオンライン上で選び、授業を行う時間帯に zoom に接続し講義を聴くという流れでした。内容としては、工学的な内容を基盤として生命科学の研究へと拡張していった講義や、最新の話題であるコロナの治療、ウイルス学の数理的解釈など様々な分野のラボの研究について聴ける機会となりました。授業は、名古屋大学での Studium Generale のような全学教養講義と相似していて、プレゼンテーションの共有とともにオンデマンドで行われました。質問があれば気軽に聴けたので、zoom 上ではありましたが講義を行う講師や教授との距離が近く感じられてよかったです。学生同士の交流は直接的になかったのですが、最終日の cultural exchange で中国分化について、現地の中国の学生から聞くことができました。

## 3. 環境 (オンライン履修環境、時差と健康管理、準備して良かったものなど)

一番大事だったのは、やはり zoom でのオンライン環境でした。私の授業は中国の大学であったので時差は 1 時間でした、なので時差にトラブルがあったり講義に参加しにくい時間帯ではありませんでした。しかし、zoom の環境が整っていない場合、画面を on にして参加することもあるので若干の不便があらうと思われました。

#### 4. 研修を終えて感じる事 & 研修申込を考えている学生へのメッセージ

留学に日頃興味があり、海外でどのように授業を行なっているのか気になる学生、さらに特定の分野の学問に興味を持っている生徒ならぜひこの研修に参加するべきであると思いました。私の場合、名古屋大学にない研究分野の話を知ることができ、新鮮でありながら将来私の行う予定の研究に活かすことができると感じました。また、講義を行なった先生ともコンタクトがとれるので、もしコロナ禍が終わり海外へ直接留学する機会ができたときに色々伺うことができるいい機会になると感じました。

#### 5. 研修費用（おおよその金額を教えてください）

内訳	おおよその額	備考
授業料（教材費含）	0円	
その他（通信費など）	0円	
奨学金・協定校割引	0円	
計	0円	

#### 6. 自由記述欄 \*おすすめ情報や研修エピソードなど書いてください。写真や資料添付も歓迎します。

個人的に、私はウイルス学に興味があったので、もしコロナ関係の授業が聴きたい方はRNAの基礎的な知識がなくても受講できるとおもうので、ぜひおすすめします。